

ネパールにおける猛禽類をはじめとした鳥類及び自然環境を保全していくための人材の育成

活動地域  ネパール



クマタカの営巣の様子

課題

ネパールは850種以上の鳥類が記録される自然豊かな国だが一方で開発が進み、人知れずクマタカなどの貴重な猛禽類の生息地が脅かされている可能性がある。

目標

ネパール人が自立して調査・研究及び啓発活動を行い、一般の人たちも巻き込んで鳥類の保護活動が進んでいく基盤が作られた状態にする。

活動内容と成果

- クマタカの営巣地の大まかな行動圏の把握・GPSの装着個体の追跡・GPSデータの解析・猛禽類の渡り調査・トレイルカメラを用いた生物調査をネパール鳥学会が実施し、リモートで指導を行った。またネパール鳥学会会員向けの一般鳥類の捕獲調査の指導用ムービーを作成した。猛禽類の渡りの調査を実施した際には地元の学生に望遠鏡の使い方や猛禽類の重要性について指導した
- 観光資源になる場所でのプロモーションビデオを制作した
- 普及啓発用のリーフレットと下敷きの案を作成した



トレイルカメラ調査で撮影されたヒョウ



今後の展望

ネパール鳥学会が自立していけるよう、エコツアーを定着させて資金源にする必要がある。ツアーのための場所や情報、そしてツアーのための技術的なことは、オンライン会議やメール、そして業務を委託することで進めることができたが実際にツアー客を受け入れるには至っていない。今後は、日本でツアーを組んでネパールに行くなど、ネパールでのエコツアーが定着するまでフォローアップしていくことが必要であると考えている。

猛禽類カウント総数 **7,724羽**

ひろげる助成

3年目

知識の提供・普及啓発

プロモーションビデオを制作した観光地 **1か所**

今年度計画の達成度 **80%**

目標達成度 **80%**

苦労した点と工夫した点

■苦労した点

現地に行けないことで一般鳥類捕獲調査指導や試験的エコツアーについては実施できない点があった。また直接会えないことでコミュニケーション不足にならないよう注意した。

■工夫した点

ネパール鳥学会会員に業務委託を行いメールやオンライン会議で連絡を取り合うことで目標達成に近づけることができた。一般鳥類調査については指導用ムービーを作成した。



地元の学生を指導している様子

全助成期間の活動を振り返って

新型コロナウイルスの影響で、2年目以降現地を訪問できないことで試験的エコツアーや一般鳥類の捕獲調査の指導など、在ネパール日本大使館など関係機関との関係構築などについては当初の計画を変更せざるを得ない部分はあったものの、ネパール鳥学会に業務委託を行ったこと、指導用ムービーを作成したことなどにより目標達成に近づけることができた。

〒166-0012
東京都杉並区和田3-54-5 第10田中ビル3階
電話：03-5378-5691
E-mail：research@jspb.org
HP：http://www.jspb.org/

